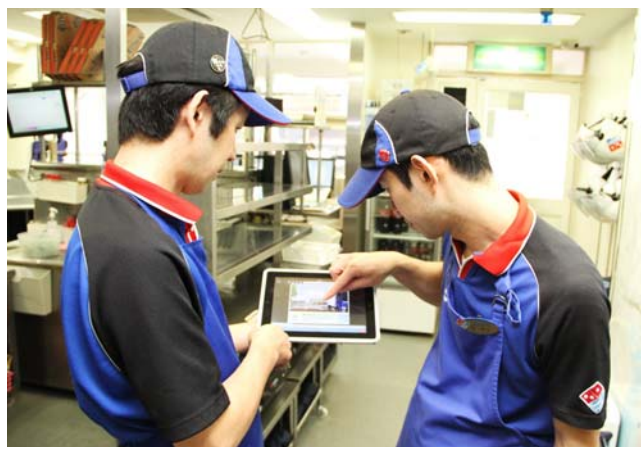


教育最前線

連載 30

宅配ピザチェーンを展開する(株)ドミノ・ピザジャパン(本社・東京都千代田区)は、「スマートドライビング宣言」を行い、それに基づいて社内の安全運転教育の実施体制を整備している。「スマートドライビング」とはデリバリー(配達)のプロとして、「人」「地域」「環境」「車両」「ピザ」「自分」のすべてにやさしい運転を実践することだ。

同社では今年4月に「Mammoth(マンモス)」という社内教育システムを構築。これは全国264店舗に勤務している約5000名のアルバイトが、タブレット端末などを使って都合の良い時間に業務に必要な知識を学んでもらうためのものである。このシステムには、配達業務を担当するデリバリークルーのための安全



ドミノ・ピザでは八丁堀店をはじめ、各店舗でHondaのKYT教材を活用し、アルバイトへの安全運転教育を実施

●(株)ドミノ・ピザジャパン 配達業務を担うアルバイトへの安全運転教育にホンダの危険予測トレーニング教材を活用

運転教育のコンテンツも用意されている。このコンテンツの1つにホンダの危険予測トレーニング(KYT)教材(一面参照)を同社は採用した。

採用した背景を同社Domino's University課長の小原健一さんは次のように話す。「ホンダのホームページにある『道路のキケン、発見!』というコンテンツは、気軽に簡単にKYTができるというたいへん有効なものです。これを当社の安全運転教育に活かさないかと考えました。そのコンテンツがDVDとしてまとめられたタイミングで、採用することにしたわけです。デリバリークルーに危険予測の考え方を浸透させ、安全運転の引き出しを増やしてもらうことがねらいです」。

そして、6月からシステム上での運用がスタート。ドミノ・ピザ八丁堀店(東京都中央区)ではストアマネージャーの門間一亀さんが業務の空き時間などを活用し、同店のアルバイトにKYTを実施している。「デリバリークルーには常に『一歩先を考えた運転』をするように伝えていきます。それを意識づける上で、このKYTのコンテンツは効果的です。配達業務をしないアルバイトにも参加してもらうなど、店舗全体での安全意識を高める上でも役立っています。様々な交通参加者の視点を学んでもらうために、二輪車に限らず、四輪車や自転車、歩行者のケーススタディも使用しています。」と門間さんはいう。

KYTのコンテンツを利用して同店のデリバリークルーは「自分では気づかない危険の存在を知ることができ、勉強になります」と感想を語る。



各店舗にあるタブレット端末を使って手軽にKYTができる

※ http://www.honda.co.jp/safetyinfo/kyt/training/

TOPICS 1 ●親子交通安全教室 事故の怖さを伝えるとともに、交通安全の大切さを学んでもらう

子どもを交通事故の危険から守るためには、親子が一緒に交通安全を学ぶことが重要である。そこで、子どもの夏休みが始まる時期に合わせて、HondaおよびHonda関連企業は親子交通安全教室を全国各地で展開した。この親子交通安全教室は、全国各地にあるHonda関連企業の周辺に住む親子を対象としており、子供には事故の怖さ、保護者には自らが事故を防ぐ知識と子供の行動特性を理解していただき、双方に「交通ルールを守る大切さ、命の大切さ」を学ぶ機会を提供することを目的としている。

各会場では、Hondaパートナーシップインストラクターが飛び出し事故や左折巻き込み事故の再現、シートベルトの効果を理解してもらうための実験などを行った(詳しくは以下を参照)。



●第1回行田地区親子交通安全教室

主催・開催場所：(株)ショーワ埼玉工場 (埼玉県行田市)

開催日：7月21日
参加人数：親子71名

子どもたちに「飛び出しの危険性」を参加体験とダミー人形を併用し再現、正しい道路での渡り方をアドバイス



●第2回浜松地区親子交通安全教室

主催：(株)エフ・シー・シー、さつき会労務安全環境委員会、本田技研工業(株)安全運転普及本部浜松普及ブロック

開催日：7月21日
開催場所：(株)エフ・シー・シー細江工場 (静岡県浜松市)

参加人数：親子98名

ダミー人形を使い急停止した状況を再現し、シートベルトの効果を確認してもらう



●第5回鈴鹿地区親子交通安全教室

主催：(株)ホンダロジスティクス、本田技研工業(株)安全運転普及本部鈴鹿普及ブロック

開催日：7月21日
開催場所：本田技研工業(株)鈴鹿物流センター(三重県鈴鹿市)

参加人数：親子206名

自転車の安全な乗り方教室では子どもたちに交差点での安全確認について指導



●第2回南会津地区親子交通安全教室

主催・開催場所：(株)飯野製作所田島工場 (福島県南会津町)

開催日：7月6日
参加人数：親子54名

Hondaパートナーシップインストラクターが「あやとりいひよこ編」(7面参照)を使って指導



●第5回人吉地区親子交通安全教室

主催：九州武蔵精密(株)、(株)東京理化熊本工場、ウエムラテック、サガラテック

開催日：7月6日
開催場所：九州武蔵精密(株)(熊本県錦町)

参加人数：親子110名

トラックによる左折巻き込み事故を再現し、クルマの内輪差についてわかりやすく説明



●第2回狭山地区親子交通安全教室

主催・開催場所：(株)ケーヒン狭山工場 (埼玉県狭山市)

開催日：7月14日
参加人数：親子63名

保護者には子どもを事故から守るために、「いきいき運転講座」の映像を活用し一時停止の重要性を指導



交通安全教室には三重西小学校子どもを守る安全パトロール隊の隊員や学校関係者など約50名が参加

●三重県四日市市

2 チャイルドビジョンを活用した子どもを守る交通安全教室

7月5日、四日市市立三重西小学校で、チャイルドビジョンを活用した子どもを守る交通安全教室が開催された。同教室は子どもたちの登下校時の見守りや、安全指導などを行っている地域のボランティア「三重西小学校子どもを守る安全パトロール隊」と四日市市教育委員会が子どもの行動についてより理解することを目的に企画したもので、Hondaがこれに協力。本田技研工業(株)安全運転普及本部の佛崎さくら

が子どもの行動特性を説明した後、チャイルドビジョン(幼児視界体験メガネ)を使って、大人と子どもの物の見え方の違いを参加者に体験してもらった。



チャイルドビジョンをかけて、視界の狭さや周囲の見づらさを体験